

第1章

公民館からはぐくむ人権のこころ ～つどう・まなぶ・むすぶ～

このまえ、学校で人権について学んだね。



人権についてもっと知りたいなあ。



それはいいね！
じゃあ公民館をとおして人権について考えてみようか。
“公民館”って、どんな場所だと思う？



公民館ってイベントとか習い事とかをする場所だね？



公民館はみんなの身近にあって、いろいろな人が集まる場所だね。
じつはそこに、「人権」の大切なヒントがかかっているんだよ。



公民館と人権って関係あるの？
なんだかむずかしそう。



だいじょうぶ。
いっしょに学んでいこう！

① 公民館について知ろう



公民館ってどんなところ？



講座やイベントだけではなく、いろいろな活動が行われているよ。
公民館は、地域に住む人が誰でも利用できる、学びと交流の場所なんだ。
大雨や地震などの災害が起きたときには、避難所として使われることもあるよ。

公民館の目的

「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の陶冶を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること」(社会教育法第20条)



【第1章】公民館からはぐくむ人権のこころ ～つどう・まなぶ・むすぶ～

公民館と人権って
どう関係があるの？



人権とは、すべての人が大切にされ、安心してしあわせに生きることができる権利のことだよ。



子どもから大人まで、いろいろな人が公民館を利用しているね。
公民館は誰でも利用できる、安心して集まれる、みんなの居場所として、人権を大切にしている場所なんだ。



太宰府市内にある
公民館について
知りたいな。

太宰府市には、自治会が運営している地区公民館が44か所と中央公民館(愛称:プラム・カルコア太宰府)が1か所あるよ！
公民館ではいろいろな活動が行われているんだ。



太宰府市内の地区公民館と関わる人たちが、
どんな思いをもって活動しているのか聞いてみよう！



② 公民館に関わる人の思い

公民館には、さまざまな人が関わっているよ。
関わっているみなさんが、
どのような思いをもって活動をしているか
聞いてみよう。



五条区自治会長(太宰府市自治協議会会長)
古賀 茂一さん

みんなで集まって、楽しみながら、 地域を学ぶ

公民館では、秋祭りや高齢者サロン、子ども会活動、
伝統行事への参加など、自治会を中心にして、たくさんの
活動が行われています。こうした場に入々がつどうこと
で、子どもから高齢の方まで世代を超えた交流が生まれ
ています。

また、太宰府の伝統行事に参加することで地域の歴史
や文化を学ぶ機会となり、次の世代へとつなげていく
意識が育っています。



公民館から地域とつながる

公民館は、地域を知り、人とつながるきっかけとなる
場所です。公民館での行事などに参加することでいろ
いろな人と知り合うことができます。

平日は17時までの開館という公民館が多く、いつも
誰かがいるという状況ではないところも少なくありませ
ん。また、運営する後継者が不足しているという課題も
ありますが、多くの人に公民館を利用していただい
て、地域を好きになり、活動に関わってもらえるとうれし
いです。

ひらかれた公民館へ

今後、夜の時間も利用したいという声が多くなって、
夜も公民館を管理できる人たちが自治会を担ってもらえ
るようになると、より多くの人に利用してもらえる公民
館になっていくと思います。

公民館は、参加する人はもちろん、運営する人たち
にとっても楽しみや生きがいとなっているみんなの居場所
です。地域で何かやってみたい人はぜひ公民館に相談
してください。

公民館のお祭りに
行くと、いろんな年齢
の人たちが集まって
いて楽しいよ！



公民館をととして、
いろんな世代の人たちが
みんなで安心してつな
がる地域をつくっているね！

みどりだい公民館 なかよしサロン



子どもと保護者がほっとできる場所に

地域の就学前の子どもたちと保護者のために活動を
始めて14年になります。公民館に保育士さんを招いて、
子どもたちを見守りながら、保護者同士が気軽に話せる
場をつくっています。コロナ以降は行えていませんが、
以前は活動後にちょっとした食べ物を持ち寄ってみんな
でお話する時間もありました。

活動を通して人とつながれることが楽しみで、生きが
いでもあります。最近は地域外からの参加が多いので、
もっと地元の方にも来てもらえたらうれしいですね。



つながることがうれしい

小さいころにサロンに来ていた子が成長して、通り道
で声をかけてくれたときはうれしかったです。知らない
人との関わりで貴重な時代だからこそ、顔見知りになる
ことは大切だと思います。

つつじヶ丘公民館 ちよこつとボランティア隊



福祉部
内海 博子さん



「ちよこつと」からつながれる

「ちよこつとボランティア隊」は、高齢の方や病気・
障がいのある方のちょっとした困りごとをお手伝いする
地域住民共助の活動グループです。電球の交換や簡単
な大工作業、大きな家具の粗大ごみ出しなど、1回100
円対応しています。活動を始めて17年目になります。

困りごとのお手伝いを通じて地域の方とつながれる
ことは、このボランティア活動のいいところですが、遠慮
もあってか、まだまだ依頼が少ないのが現状です。初め
て依頼するときはためらうかも
しれませんが、気軽に声をかけ
てほしいです。



ふだんから声をかけあえる関係

自治会の福祉部では、高齢者サロンとして、高齢の方
を対象に、認知症予防や美容講座など、ためになって
楽しい講座を公民館で行っています。

高齢者サロンでは、参加された方から「一日誰とも
話さない日がある」と聞くこともあります。公民館に
来ることによって人と話さずきかけができ、生活にハリも生ま
れます。日ごろから「おはよう」「こんにちは」と声をかけ
あえる関係性が育っていくといいですね。



公民館に関わっているみなさんは、地域と住んでいる人たちをよりよく
したいという思いを持っているんだね。



③ 公民館からはくむ人権のころ

公民館には、地域のことを
思って活動している人が
たくさんいるんだね。



そうだね。
公民館での活動には、
人を大切にすることを
育てる3つのカギが
あるんだ。

つどう

いろいろな人があつまる居場所

公民館は大人も子ども誰でも来られる場所です。
世代をこえて人と出会う、みんなが自分らしくいられる
居場所となるのが公民館です。



まなぶ

地域や人を思う心が育つ

公民館での学びは、学校での勉強とは少しちがいます。
公民館での活動やお祭りなどに参加することで、地域の
ことやいろいろな人の考え方などを知ることができます。
それは自分の住んでいる地域や人を思う心が育つ大切な
学びです。



むすぶ

人と人がつながる

地域の人たちと知り合ったり、あいさつから会話が生まれ
たり、公民館ではそんな小さなつながりが生まれて
います。
人と人がつながることは、だれもが大切にされる社会を
つくる一歩です。



④ おわりに

いろんな人と出会う、学んで、つながって。
公民館には、人を大切にすることを育てるカギがある
ことがわかったね。
そうした小さな積み重ねが、人権を大切にすることに
つながっていくんだよ。

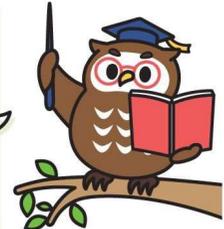


住んでいる地域を大切にすることは、
自分や周りのみんなを大切にすること。
これは人権を大切にすることにつながるね。

だれもが安心してすごせる居場所
があるといいよね。
公民館に行ってみたくになったなあ。



公民館は地域に暮らしている一人ひとりの
「安心」や「つながり」を育てる、とても大事な場所なんだね。
「人権」って、特別なことじゃないよ。
毎日の暮らしの中で、「安心して暮らせる」「大切にされている」
と感じられること。それこそが、「人権」なんだ。
公民館をきっかけに、人権のことを身近に感じてもらえたら
うれしいな。



次のページから第2章がはじまるよ!